

みんなの全断連短信〔第34号〕

平成23年4月1日創刊
平成26年1月1日発行

(発行責任者) 中田克宜 (発行者) 公益社団法人全日本断酒連盟 事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-2 ☎03-3863-1600



あけましておめでとうございます 本年も宜しくお願い申し上げます



念願成る！ アルコール健康障害対策基本法 国会で成立

平成25年11月21日の衆議院に続き、12月7日 参議院本会議において、全断連結成以来の念願であるアルコール依存症等関連問題解決のための法律が「アルコール健康障害対策基本法」として可決された。

ここに至る大詰め局面での慌ただししい動きは前号(第33号)で報告した通りであるが、アルコール問題議員連盟の「全断連の記念すべき50周年に間に合わせよう」という意気込みが今国会での結実をもたらした。

いよいよ本当の活動が始まる。基本法の求める自助組織への付託に応えるため、また、この法律を真に断酒会のものとするため、会員として組織としての充実に努めなければならない。(詳細：かがり火3月号参照)

基本法制定を願う集い岡山大会開催

12月8日岡山コンベンション・センターで、中国四国アルコール関連問題研究会、岡山県アルコール関連問題研究会、全断連中国ブロック協議会、(N)岡山県断酒新生会主催。

直前の7日に基本法が成立したため、急遽「基本法制定を祝う会」となり、今後の基本計画推進に向けての決意を新たに大きな盛り上がりを見せた。

・実行委員長に有本敬氏(岡山県断酒新生会理事長)、副委員長に橋本隆氏(中国四国アルコール関連問題研究会会長)、堀井茂男氏(岡山県アルコール関連問題研究会会長)、中島豊爾氏(岡山県精神科医会代表理事)。

・基調講演：猪野亜朗氏(かすみがうらクリニック副院長)「今こそアルコール健康障害対策基本法を」

・アルコール問題議員連盟 中谷元会長、中川正春会長代行、あべ俊子幹事、福山哲郎事務局長、逢沢一郎氏、柚木道義氏、石井正弘氏、谷合正明氏が、次々と登壇され、基本法制定の祝福と今後の活動についてユーモアを交えつつ熱い激励のメッセージを送られ満場拍手喝采の渦となった。国会議員祝電20通。
・県議多数、医療行政等含め520名の参加を得た。

全断連主催行事報告

① 中部ブロック秋季研修会(愛知)

11月2、3日(N)愛知県断酒連合会主管により愛知県美浜少年自然の家で開催。

特にテーマは設けず、体験談のみの研修会とした。医療1、断酒会119、総計120名の参加を得た。

② 近畿断酒学校

11月22～24日貝塚市大阪府立少年自然の家で開催。全断連からは小栗副理事長が参加。

・2日目に、アクション・プラン勉強会を実施。

グループワーク2時間、全体会2時間。

・「酒害者を子に持つ親の会」11名参加。新阿武山クリニック 西川京子氏のアドバイスを受けた。

・「家族会のあり方」の勉強会 講師西川京子氏

・分科会(アメシスト・虹・シングル)開催

総計261名が参加。

全断連助成金申請状況

○常設酒害相談窓口開設助成金(100,000円)

・大阪府断酒会(100,000円)

○市民公開セミナー助成金(300,000円)

・(社)北海道断酒連合会(300,000円)

・秋田県断酒連合会(150,000円)

・(N)宮城県断酒会(150,000円)

・(N)徳島県断酒会、香川県断酒会(300,000円)

・近畿ブロック7県連均等(300,000円)

○アクション・プラン推進助成金

・四国ブロック(合同委員会開催 50,000円)

・九州ブロック(酒害相談研修講座 100,000円)

・九州ブロック(リーダーを考える会 50,000円)

ブロック協議会報告

○東北6県連絡会議(兼評議員会)

11月9日福島県国立磐梯青少年交流の家で開催。

・東北断酒連合会平成25年度酒害相談研修講座報告
7月21日～10月20日 5回10講座

参加総数264名(平均52.8名)、修了者37名

今後は隔年での実施を決定。

・平成26年度東北ブロック(青森)大会 6/7、8

・平成26年度東北断酒学校 7/5、6

2014年度代議員選挙準備のお願い

2月1日は全断連代議員選挙告示の日です。

信任投票の準備をお願いいたします。

ブロック大会後援依頼回答のお願い

平成25年度ブロック大会開催主管県連に対し厚労省後援依頼のため、開催要綱と収支予算書の提出を依頼しています（平成25年12月10日全断連事第25-102号）。ブロック大会は公益法人全断連が主催する地域における最大の行事で、厚労省の後援を得ることが大原則です。ご協力をお願いします。

「躍進する全断連2014」配布

— 全断連50年史を掲載 —

1月初旬に県連事務局宛て発送します（配布部数：各都道府県連所属会員数×130%）。

50周年記念号として「全断連50年史」を掲載。B5版 本文96ページ。全国断酒会名簿最新版付全正会員のお手元に中旬頃届く見込みです。地域の医療・行政の皆様にもお届けします。

市民公開セミナー開催状況

①埼玉県北部市民公開セミナー

9月14日秩父保健所で、秩父保健所主催、埼玉県断酒会新生会共催にて開催。

- ・第9回こころの広場「気持ちを楽にしたい人のための、こころスッキリ晴ればれ講座」
- ・講演：遠藤嗜癪問題相談室長 山本由紀氏
「アディクションから読み解くメンタルヘルス」
行政医療8、一般19、断酒会54、総計81名参加

②埼玉県北部第3回市民公開セミナーinよりい

10月5日寄居市中央公民館で開催。

- ・テーマ：「手をつなごう」
- ・講演：熊谷神経クリニック臨床心理士 奥野大地氏
「人と人とのつながり」
埼玉県立精神保健福祉センター 堀切 明氏
「県の地域支援について」他3件
行政医療3、一般11、断酒会37、総計51名参加

③島根県アルコール関連問題地域セミナー

10月10日松江市朝日公民館で開催。

- ・主催：松江市民生児童委員会第6ブロック協議会・島根県立心と体の相談センター
- 共催：島根県断酒会新生会・山陰嗜癪行動研究会
- 協力：松江市福祉部・松江市社会福祉協議会
- ・講演：島根県断酒会新生会 杉浦勝栄
「アル症体験と皆さんに期待する対応について」
松江市の地域連携の強化の必要性を感じて講演。
行政5、医療3、民生51、断酒会1、合計60名参加

④京都府京都市市民公開セミナー

10月18日京都市ウイングス京都で開催。京都府・京都市・(N)京都府断酒連合会共催

- ・アルコールと健康を考えるセミナー
- ・講演：かすみがうらクリニック副院長 猪野亜朗氏
「アルコールで起こる心と体の問題」
- ・一般参加者が多く、大いに啓発効果が上がった。
医療18、一般59、断酒会77、総計154名参加

⑤平成25年度山梨県アルコール保健講演会

10月27日甲斐市敷島総合文化会館で、山梨県精神福祉センター主催、(N)山梨県断酒会共催で開催

- ・センターと山梨県断酒会で費用折半
- ・甲斐市、精神保健協会、NHK甲府、山梨日日新聞、山梨放送、TV山梨後援
- ・テーマ：アルコール依存症と断酒会について
- ・講演：山梨大学教育人間学部教授 小畑文也氏
「アルコール依存症は病気です」

行政11、医療16、一般10、断酒会26、総計63名

⑥徳島県市民公開セミナー

10月27日徳島市アスピーとくしまで、徳島アルコール問題研究会と共催により開催。

- ・テーマ：飲酒運転を撲滅する。
- ・講演：1部ASK代表 今成知美氏
2部井上保孝・郁美夫妻
- ・パネルディスカッション
今成氏、井上夫妻、藍里病院副院長 吉田精次氏・徳島県警本部・断酒会家族・県会議員
初の公開講座としては盛況で、参加者総数138名

⑦京都府北部「アルコール関連問題」市民セミナー

10月31日舞鶴市西駅交流センターで、京都府・(N)京都府断酒連合会主催により開催。

- ・講演：(N)いちごの会理事 精神保健福祉士 佐古恵理子氏
「生活全体の回復をめざす～アルコール依存症本人と家族への支援～」
- ・恒例のグループワークが今年も好評で、時間を増やしてほしいとの声が多く出た。

行政・医療11、一般3、断酒会27、総計41名参加

⑧大分県「アルコール問題と自殺を考える」シンポジウム

11月9日ホルトホール大分にて（一社）大分県断酒連合会と県障害福祉課共催、大分県・大分市・大分県精神科病院協会・大分県社会福祉会大分支部・大分市社会福祉協議会・NHK大分・OBS・TOS・大分市ケーブルTV、大分合同新聞社の後援により開催。

- ・基調講演：熊本県益城病院院長 松永哲夫氏
「アルコール関連問題と自殺」
- ・講演終了後にパネルディスカッションを実施。
参加者約200名

全断連行事日程・開催場所変更

○九州ブロック研修会(長崎)併社会復帰一泊研修会

- ・日程変更：12/1→3/1・場所：諫早青少年自然の家

全断連主催行事予定-4月まで

- 2/14～16 大雪断酒学校(旭川)
- 3/1 九州ブロック研修会(長崎)
- 3/1、2 中部ブロック春季研修会(愛知)
- 3/8、9 関東ブロック研修会
- 4/6 中国ブロック(広島)大会
- 4/13 北陸ブロック(福井)大会
- 4/20 中部ブロック(静岡)大会
- 4/20 四国ブロック(高知)大会